

第 65 回こどもの読書週間の標語は

「ひらいてとじた 笑顔がふえた」です。



こどもの読書週間とは

日本書籍出版協会児童書部会が中心になって1959年に始まりました。もともとは5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日～14日)でしたが、子どもの読書への関心の高まりを受けて、「子ども読書年」である2000年より現在の4月23日～5月12日になりました。

全国の図書館ではこの週間に合わせ、様々なイベントが行われています。

【伊達中学校のイベント】

☆貸出冊数 5 冊にアップ



4 月 25 日(火)～5 月 2 日(火)までの 6 日間、貸出冊数を通常の 2 冊から 5 冊にアップします。

☆こどもの読書週間公式しおりプレゼント

4 月 25 日(火)～5 月 12 日(金)までに図書室で本を借りた人にしおりをプレゼントします。

今月の



如月 かずさ『給食アンサンブル』

光村図書出版

父親の会社が倒産して、私立の女子学院から公立の中学校に転校してきた美貴。



今までの生活が一変し、心の整理がまだつかない。転校の理由を周囲の友だちには隠してきたが、事情を知られてしまい…。6 人の中学生の給食にまつわる物語。

鈴木 るりか

『14 歳、明日の時間割』 小学館

<1 時間目 国語>短編小説が入賞し、作家になった少女への国語の先生のお願いとは。

<2 時間目 家庭科>家庭科を得意とする少年が抱える事情と、見守る少女の想い。



<3 時間目 数学>都会に転校する少年の孤独と不安を癒したのは…。<4 時間目 道徳><昼休み>…、短編小説を学校の時間割に見立てて、現役中学生が書いた 7 つの物語。